

レベル(達成度)	卒後教育	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を実践できる。	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動をしめす。	医師としての態度・価値観をシミュレーションできる	技能・態度を示すことができる	知識を獲得している	経験する機会はあるが、単位認定には関係ない	経験する機会がない
II. 医学・医療に関する知識(ver.2.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探求し、適切に問題解決できる。	実践の場で課題を探求し、適切に問題解決できる。	実践の場で課題を探求し、解決への応用ができる。	課題解決のための知識を示すことができる。	課題解決の道筋を設定できる。	基盤となる知識を説明できる。	経験する機会はある。	修得する機会がない
III. 医療の実践(ver.3.1)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部学生は卒業時に							
医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。	診療の場で実践することができる。	診療の一部として実践することができる。	模擬診療を実施できる。	基盤となるスキル・態度を示すことができる。	基盤となる知識を説明できる。	経験する機会はある。	経験する機会がない
IV. コミュニケーション技能(ver.2.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人の良好な人間関係を構築できる。	診療の場で実践することができる。	診療の一部として実践することができる。	模擬診療を実施できる。	基盤となるスキル・態度を示すことができる。	基盤となる知識を説明できる。	経験する機会はある。	経験する機会がない
V. 地域医療・社会医学(ver.3.0)	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。	地域医療のチームの一員として診療を実践できる。	地域医療のチーム一員として診療の一部を実践できる。	地域における課題の発見と計画立案ができる。	基盤となるスキル・態度を示すことができる。	基盤となる知識を説明できる。	経験する機会はある。	経験する機会がない
VI. 科学的探究	S	A	B	C	D	E	F
長崎大学医学部生は卒業時に							
医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。	計画に沿って、自主的に研究に参加し、常に科学性および医学的創造性に基づいた論理的思考ができる。	計画に沿って、一部自主的に参加できる。	研究計画の立案、研究の見学、参加する。	基盤となるスキル・態度を示すことができる。	基盤となる知識を説明できる。	経験する機会はある。	経験する機会がない

学年 セメスタ	1										2																																							
	前	前	前	前	前	後	前後	前後	後	後	前	前	前	前	前	後	後	後	後	前後	前後																													
カリキュラムの主な構成要素	医と社会					入門科目					正常構造と機能					正常構造と機能					疾患総論					医学総合セミナー		医学英語																						
コースユニット名	医と社会 I		ようこそ先輩		医科生物学入門		長崎医学史・原爆医学概論		CSIE		医学統計学		人体構造系 I (骨・筋・消化器・呼吸器・脈管)		生体分子系・生化学実習		内臓機能体液系 I (細胞生理・循環・自律・消化器・呼吸・腎・内分泌)		発生組織系 I (支持・上皮・筋・脈管・口腔・消化器・呼吸・泌尿生殖・内分泌)		医学総合セミナー		医学英語 A / B / C 国際医療英語		医と社会 II		人体構造系 II (末梢神経)		系実習		神経・感覚器系		動物性機能		内臓機能体液系 II		分子遺伝系		感染系・実習		免疫系・実習		腫瘍系		環境因子系・実習		医学総合セミナー		国際医療英語	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。																																																		
卒業生は																																																		
1	C/D	E	E	C/D	E	F	C/D	E	E	E	C/D	F	C/D	C/D	C/D	E	E	C/D	E	E	E	C/D	C/D	F																										
2	C/D	E	E	C/D	E	F	C/D	E	E	E	C/D	F	C/D	C/D	C/D	E	E	C/D	E	E	E	C/D	C/D	F																										
3	C/D	E	F	C/D	E	F	C/D	E	E	E	C/D	F	C/D	C/D	C/D	E	E	C/D	E	E	E	C/D	C/D	F																										
4	E	E	F	F	E	F	E	E	E	E	F	C/D	C/D	C/D	F	E	E	C/D	C/D	E	C/D	E	F																											
5	C/D	C/D	F	C/D	E	F	F	F	F	F	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	C/D	E	F																										
II. 医学・医療に関する知識																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探索し、適切に問題解決できる。																																																		
卒業生は																																																		
1	F	F	C/D	F	E	F	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F	F	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F																										
2	F	F	C/D	F	E	F	E	C/D	C/D	C/D	E	F	F	E	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F																										
3	F	F	C/D	F	E	F	E	C/D	C/D	C/D	E	F	E	E	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F																										
4	F	F	C/D	F	E	F	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F																										
5	F	F	C/D	F	E	F	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F	E	E	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F																										
III. 医療の実践																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。																																																		
卒業生は																																																		
1	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F																											
2	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F																											
3	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
4	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
5	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
6	E	F	F	F	E	F	E	E	E	E	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
7	E	F	F	F	F	F	E	E	E	E	E	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
IV. コミュニケーション技能																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人の良好な人間関係を構築できる。																																																		
卒業生は																																																		
1	C/D	E	E	E	E	F	E	F	F	F	E	E	C/D	E	E	E	F	F	E	F	F	F	E																											
2	C/D	E	E	E	E	F	E	F	F	F	E	E	C/D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E																											
3	C/D	E	E	E	E	F	E	F	F	F	E	E	C/D	E	E	F	F	F	E	F	F	F	E																											
4	C/D	E	E	E	E	E	E	F	F	F	E	E	C/D	E	E	F	F	F	E	F	F	F	E																											
V. 地域医療・社会医学・国際性																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。																																																		
卒業生は																																																		
1	E	E	C/D	E	E	E	F	F	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	C/D	E	F	E	C/D	E																											
2	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	E	F	F	F	E	F																											
3	E	E	E	E	E	C/D	F	E	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	E	E	E	E	C/D	E																											
4	E	E	E	E	E	C/D	F	E	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	C/D	E	E	E	C/D	E																											
5	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F																											
6	E	E	E	F	E	E	F	F	F	F	E	F	C/D	F	F	F	F	E	E	F	F	F	F																											
VI. 科学的探究																																																		
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。																																																		
卒業生は																																																		
1	E	F	C/D	E	E	D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	F	E	C/D	C/D	C/D	C/D	B	B	B	B	B	E																											
2	E	F	E	E	E	C/D	E	E	E	E	E	F	E	E	E	E	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E																											
3	E	F	C/D	D	E	C/D	C/D	C/D	C/D	C/D	E	E	E	C/D	C/D	C/D	C/D	B	B	B	B	B	E																											

学年 セメスタ	3												4																																																																							
	前	後	前	前	前	前	前	前	前	後	後	後	前	後	前	前	前	前	前	前	前	後	後	後	後	後	後	後	後	前	前																																																					
カリキュラムの主な構成要素	医と社会		疾患総論			疾患各論							診療の基本		医学英語		基礎研究実習		医と社会		疾患各論						医学・医療と社会				診療の基本						臨床実習		医学総合セミナー		医学英語																																											
コースユニット名	医と社会Ⅲ		病理総論系			薬理系 実習			基礎医学TBL		循環器系 病理 薬理		呼吸器系 病理 薬理		感染症系 病理		血液リンパ系 病理		腎泌尿器系 病理 薬理		内分泌代謝系 病理 薬理		消化器系 病理 薬理		生殖系 病理		運動系 病理		放射線医学 臨床検査医学		臨床検査医学 医学総合セミナー		医学英語A/B/C		リサーチセミナー		医と社会Ⅳ 振り返り・先輩		正常構造と機能		小児系		精神系		脳・神経系 病理		皮膚系 病理		免疫アレルギー系		視覚系		耳鼻咽喉口腔系		衛生学・分子疫学		公衆衛生学		地域医療学		法医学系		外科治療学		診断学		臨床疫学・医療情報学		臨床薬理学		東洋医学		総合病理学		臨床推論PBL		臨床実習入門		臨床実習Ⅰ		医学総合セミナー		医学英語A/B/C	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	自らの知識・能力を振り返り、新たな学習の必要性を認知して、信頼できる情報を得て、その後の学習や診療に活かすことができる。																																																																																			
2	個々の事例が生命倫理・医療倫理上の問題であるか否かを判断・認識し、対応できる。																																																																																			
3	患者の権利や医師の使命・義務・裁量権に基づいた判断ができる。																																																																																			
4	個々の及び組織全体の医療安全に配慮した行動ができる。																																																																																			
5	長崎の歴史を理解し、利他的精神および平和の希求に基づいた行動ができる。																																																																																			
II. 医学・医療に関する知識																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探索し、適切に問題解決できる。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	個体の構成と機能に関する基本的知識を有し、病態を説明できる。																																																																																			
2	個体の反応に関する基本的知識を有し、生体反応、病態を説明できる。																																																																																			
3	病因と病態との関係を説明できる。																																																																																			
4	人体各器官の正常構造と機能・病態を理解し、適切な思考・判断ができる。																																																																																			
5	全身に及ぶ生理的变化・病態を理解し、適切な思考・判断ができる。																																																																																			
III. 医療の実践																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に、医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	症候・病態を理解し、適切な診療計画を立案できる。																																																																																			
2	基本的診療知識・技能を有し、基本的な診療を行うことができる。																																																																																			
3	臨床推論により疾患を診断できる。																																																																																			
4	検査計画を立案し、結果を解釈できる。																																																																																			
5	治療計画を立案できる。																																																																																			
6	診療情報利用方法と管理を理解し、適切に取り扱い、プレゼンテーションできる。																																																																																			
7	診断・治療・全身管理に参加できる。																																																																																			
IV. コミュニケーション技能																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に、人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人の人との良好な人間関係を構築できる。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係を確立できる。																																																																																			
2	患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することができる。																																																																																			
3	チーム医療の重要性を理解し、関連専門職との連携を図ることができる。																																																																																			
4	患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意を得るための対話能力を有し、適切な態度・思考ができる。																																																																																			
V. 地域医療・社会医学・国際性																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に、医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身につけている。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	社会・環境と健康との関係を理解し、それに基づいた思考ができる。																																																																																			
2	地域医療・国際医療の現状と課題を理解し、チーム医療活動に参加できる。																																																																																			
3	疫学と予防医学について理解し、それに基づいた思考ができる。																																																																																			
4	生活習慣と疾病の関連及び病態を理解し、予防・診療を計画できる。																																																																																			
5	行政・保健・医療・福祉と介護の制度を理解し、利用することができる。																																																																																			
6	医療経済に配慮することができる。																																																																																			
VI. 科学的探究																																																																																				
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。																																																																																				
卒業生は																																																																																				
1	医療の評価・検証と科学的研究の必要性を理解し、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。																																																																																			
2	医療の発展における臨床研究の重要性を理解し、立案できる。																																																																																			
3	科学的情報を集め、それを批判的に吟味することができる。																																																																																			

学年 セメスタ	5		6		卒業後 研修	
	前	後	前	後		
カリキュラムの主な構成要素						
		臨床実習	臨床実習		卒業後研修	
コースユニット名						
	臨床実習Ⅱ	高次臨床実習Ⅰ	高次臨床実習Ⅱ	卒業試験	卒業後研修	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム						
長崎大学医学部学生は卒業時に自らの健康管理にも努め、生涯にわたる学習意欲を有し、生命倫理・医療倫理を重んじ、豊かな人間性と社会的使命感に基づいた行動ができる。						
卒業生は						
1	自らの知識・能力を振り返り、新たな学習の必要性を認識し、信頼できる情報を得て、その後の学習や診療に活かすことができる。	A	A	A	C/D	S
2	個々の事例が生命倫理・医療倫理上の問題であるか否かを判断・認識し、対応できる。	A	A	A	C/D	S
3	患者の権利や医師の使命・義務・裁量権に基づいた判断ができる。	A	A	A	C/D	S
4	個々の及び組織全体の医療安全に配慮した行動ができる。	A	A	A	C/D	S
5	長崎の歴史を理解し、利他的精神および平和の希求に基づいた行動ができる。	E	E	E	E	S
II. 医学・医療に関する知識						
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学・医療の基本的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探索し、適切に問題解決できる。						
卒業生は						
1	個体の構成と機能に関する基本的知識を有し、病態を説明できる。	A	A	A	B	S
2	個体の反応に関する基本的知識を有し、生体反応、病態を説明できる。	A	A	A	B	S
3	病因と病態との関係を説明できる。	A	A	A	B	S
4	人体各器官の正常構造と機能・病態を理解し、適切な思考・判断ができる。	A	A	A	B	S
5	全身に及ぶ生理的変化・病態を理解し、適切な思考・判断ができる。	A	A	A	B	S
III. 医療の実践						
長崎大学医学部学生は卒業時に、医師としての業務を遂行する専門職として必要な基本的診療能力(統合された知識、技能、態度・行動に基づく総合的能力)を有し、適切な診療計画を立てることができる。						
卒業生は						
1	症候・病態を理解し、適切な診療計画を立案できる。	A	A	A	B	S
2	基本的診療知識・技能を有し、基本的な診療を行うことができる。	A	A	A	B	S
3	臨床推論により疾患を診断できる。	A	A	A	B	S
4	検査計画を立案し、結果を解釈できる。	A	A	A	B	S
5	治療計画を立案できる。	A	A	A	B	S
6	診療情報利用方法と管理を理解し、適切に取り扱い、プレゼンテーションできる。	A	A	A	B	S
7	診断・治療・全身管理に参加できる。	A	A	A	B	S
IV. コミュニケーション技能						
長崎大学医学部学生は卒業時に、人間理解に立った高い協調性のもとに医療の場において関わる全ての人の良好な人間関係を構築できる。						
卒業生は						
1	医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係を確立できる。	A	A	A	B	S
2	患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することができる。	A	A	A	B	S
3	チーム医療の重要性を理解し、関連専門職との連携を図ることができる。	A	A	A	B	S
4	患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意を得るための対話能力を有し、適切な態度・思考ができる。	A	A	A	B	S
V. 地域医療・社会医学・国際性						
長崎大学医学部学生は卒業時に、医療行政・福祉・保健・医療経済への配慮の下、チームの一員として多職種と協働し、地域社会や国際社会へ貢献するための能力を身に付ける。						
卒業生は						
1	社会・環境と健康との関係を理解し、それに基づいた思考ができる。	A	A	A	B	S
2	地域医療・国際医療の現状と課題を理解し、チーム医療活動に参加できる。	A	A	A	B	S
3	疫学と予防医学について理解し、それに基づいた思考ができる。	A	A	A	B	S
4	生活習慣と疾病の関連及び病態を理解し、予防・診療を計画できる。	A	A	A	B	S
5	行政・保健・医療・福祉と介護の制度を理解し、利用することができる。	A	A	A	B	S
6	医療経済に配慮することができる。	A	A	A	B	S
VI. 科学的探究						
長崎大学医学部学生は卒業時に、医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。						
卒業生は						
1	医療の評価・検証と科学的研究の必要性を理解し、科学性及び医学的創造性に基づいた論理的思考や独創的発想ができる。	A	A	A	C/D	S
2	医療の発展における臨床研究の重要性を理解し、立案できる。	A	A	A	C/D	S
3	科学的情報を集め、それを批判的に吟味することができる。	A	A	A	C/D	S

I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
領域ごとの達成レベル(I)		
Super	S	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動を実践できる。
Advanced	A	診療の現場で医師としての態度・価値観・行動をしめすことができる。
Applied	B	医師としての態度・価値観をシミュレーションできる
Basic	C	技能・態度を示すことができる
	E	経験する機会はあるが、単位認定には関係ない
	F	経験する機会がない
II. 医学・医療に関する知識		
領域ごとの達成レベル(II)		
Super	S	実践の場で課題を探索し、適切に問題解決できる
Advanced	A	実践の場で課題を探索し、解決への応用ができる。
Applied	B	課題解決のための知識を示すことができる。
Basic	C	課題解決の道筋を設定できる。
	D	基礎となる知識を説明できる。
	E	経験する機会はある。
	F	修得する機会がない
III. 医療の実践		
領域ごとの達成レベル(III)		
Super	S	診療の場で実践することが出来る。
Advanced	A	診療の一部として実践することができる。
Applied	B	模擬診療を実施できる。
Basic	C	基礎となるスキル・態度を示すことができる。
	D	基礎となる知識を説明できる。
	E	経験する機会はある。
	F	経験する機会がない
IV. コミュニケーション技能		
領域ごとの達成レベル(IV)		
Super	S	診療の場で実践することが出来る。
Advanced	A	診療の一部として実践することができる。
Applied	B	模擬診療を実施できる。
Basic	C	基礎となるスキル・態度を示すことができる。
	D	基礎となる知識を説明できる。
	E	経験する機会はある。
	F	経験する機会がない
V. 地域医療・社会医学・国際性		
領域ごとの達成レベル(V)		
Super	S	診療の場で実践することが出来る。
Advanced	A	地域医療のチーム一員として診療の一部を実践できる。
Applied	B	地域における課題の発見と計画立案ができる。
Basic	C	基礎となるスキル・態度を示すことができる。
	D	基礎となる知識を説明できる。
	E	経験する機会はある。
	F	経験する機会がない
VI. 科学的探究		
領域ごとの達成レベル(VI)		
Super	S	計画に沿って、自主的に研究に参加し、常に科学性および医学的創造性に基づいた論理的思考が出来る
Advanced	A	計画に沿って、一部自主的に参加できる。
Applied	B	研究計画の立案、研究の見学、参加する。
Basic	C	基礎となるスキル・態度を示すことができる。
	D	基礎となる知識を説明できる。
	E	経験する機会はある。
	F	経験する機会がない